

道連  
報告

## 日本生協連の地区別代議員会議開催

### 活発に意見が出されました

日本生協連の北海道・東北地区代議員会議が4月2日、仙台で開催されました。日本生協連の総会会日は6月18日に予定されていて、今年度から1日に短縮して行われることを前提に、1道6県の代議員数120名（北海道は20名）のうち、当日は代議員48名・オブザーバー6名の合計54名が出席し、7名が意見を表明しました。北海道からは今年も残念ながら当会の代議員予定者1名の参加でした。日本生協連からは山下会長、矢野・芳賀両専務、越淵常任監事らが出席し議案を説明しました。今年度の議案は次の通りです。

- 第1号 第11次全国生協中期計画
- 第2号 全国生協2009年度まとめ・2010年度活動方針
- 第3号 2009年度事業報告書及び決算関係
- 第4号 2010年度事業計画及び予算
- 第5号 役員選任規約の1部変更
- 第6号 役員報酬決定
- 第7号 制度廃止に伴う役員退任慰労金支給
- 第8号 会員規約の1部変更
- 第9号 日本医療福祉生活協同組合連合会（仮称）への加入

- 第10号 金澤市民など3生協の除名
- 第11号 議案決議効力発生

代議員からは、地域格差や所得格差の拡大・組合員のくらしの厳しさに対してCOOP商品の価格競争力を高めること、地域での灯油などの活動を評価すること、地域の各種団体とネットワークを強化して福祉や消費者問題に取り組む必要などが発言されました。



4月2日仙台で開催された「北海道・東北地区代議員会議」

網走学校生協

## 第55回通常総代会が開催されました

網走四地区学校生活協同組合の第55回通常総代会が3月9日に開催され、議案すべてについて承認を頂き、無事終了しました。出席数は総代定員100名中、出席総代数47名、書面議決43名を含めて90名でした。



第55回通常総代会で全議案が承認されました

議案は、第1号・09年度事業決算監査報告承認の件、第2号・剰余金処理案承認の件、第3号・事業計画・予算案承認の件、第4号・借入限度額承認の件、第5号・役員選任に関する件、第6号・議案決議効力発生の件で、全議案とも承認されました。

08年9月のリーマンショック以後、厳しい経済状況の中、組合員の給与削減による購買力の低下、低価格競争、量販店ネット購入へのシフトなど厳しい事業活動となっております。前年踏襲型の事業構造の見直し、役職員の意識改革と多様化する組合員のニーズに対応する体制作り、新規事業の再構築をしていくという内部要因も含め、改善していくことが急務となっております。

くらしに役立つサービス事業、供給事業で、仕事と家庭を総合的にサポートできるライフパートナーとして安心、安全をお届けして参りたいと思います。

# 2010年度コープさっぽろ入協式が行われました

コープさっぽろ

～元気よく、前へ！～

4月1日、富良野演劇工場で、コープさっぽろ入協式が行われ、大卒総合職員36人、契約職員から総合職員への登用者20人、高卒契約職員32人のフレッシュな88人が、新たな一步を踏み出しました。大見英明理事長は、激励の言葉で、自身の新人時代のエピソードを交えながら、無知を知り、生協人として常に学んでいこうと呼び掛けました。

入協者による決意表明では、登用者、高卒職員は一人30秒のマイクリレーでスピーチを行いました。大卒職員はグループごとに、手作りのカードを用意したり、壇上へ上がって応援団風のパフォーマンスを披露するなど、個性豊かに決意表明を行いました。

入協式終了後は、同じ会場で、富良野塾（10年4月4日に閉塾）の現役生とOBらによる富良野GROUPの演劇「谷は眠っていた～富良野塾の記録」を鑑賞しました。

## 演劇鑑賞感想文より（要約）

劇全体を通して感じたことは一つのものをつくっていくことの難しさと美しさです。そしてそれに感動しました。この一体感のために、自分達の思いを伝えるためにどれだけ練習してどれだけ苦勞したのだろうと考えると涙が出てきました。劇の最後に塾生が舞台から去っていくシーンがあり、倉本先生から「走り続けろ」というメッセージがありました。入協式で感じた使命感や感動を忘れず、前を向いて走り続けます。この劇は私を前に進めてくれました。本当に観ることができて良かったです。



手作りのカードを使い決意表明をする、大卒総合職員

# 適格消費者団体認定の記念シンポジウムが開催されました

## 内閣府・松本恒雄消費者委員長が基調講演

NPO法人消費者支援ネット北海道は2月25日に内閣総理大臣から『適格消費者団体』の認定を受け、26日に福島消費者庁担当大臣から認定書の交付が行われ

ました。これを受けて、ホクネットは4月17日、自治労会館にて「認定記念シンポジウム」を行い、80名が参加しました。

理事長挨拶に続いて、松本恒雄・内閣府消費者委員会委員長（一橋大法科大学院長）が『消費者委員会をめざすもの』をテーマに講演。発足後6ヶ月にも拘わらず、消費者問題の課題整理に鋭く突っ込んでいる委員会の様子を報告されました。

次いで『地方における消費者行政充実のための課題と提案』のパネルディスカッションに移り、中西道庁くらし安全局長、渡辺札幌市消費者センター所長、道尻弁護士（ホクネット理事）から現在の取組みを報告。司会は向田・北海学園大法学部長（ホクネット理事）が務められ、アドバイザーで松本委員長も参加されました。



ホクネットのシンポジウムで講演する松本恒雄委員長

## お知らせ 北海道庁所轄部の新組織体制

道庁の環境生活部の機構が4月から変更されました。それに伴い、生活協同組合は消費者安全課「消費企画グループ」が所轄となります。

【環境生活部 くらし安全局 消費者安全課 消費企画グループ 生協担当】 \*敬称略

環境生活部(2局1課)	総務課・環境局・くらし安全局
くらし安全局(3課)	くらし安全推進課・消費者安全課・道民活動文化振興課
消費者安全課(4グループ)	消費企画G・消費調整G・取引適正化G・表示適正化G

環境生活部長	田中 正己 (新任)
くらし安全局長	中西 猛雄
消費者安全課長	千葉 俊文 (新任)
消費企画グループ主幹	近藤 哲司
消費企画グループ主査	蝦名 勝徳
消費企画グループ主任	矢嶋 裕一